札幌市立稲陵中学校
学校だより
山なみ
第３号
令和８年
11 月６日
発　行
さわやかな挨拶と響きあう言葉　笑顔いっぱい　稲陵大好き！
https://www.toryo-j.sapporo-c.ed.jp/

令和８年度全国学力・学習状況調査の結果について

４月 20 日（月）、23 日（木）に実施した「令和８年度全国学力・学習状況調査」について、全国及び札幌市のまとめが公表され、本校でも７月と９月に３年生に個人票を配付いたしました。その後、本校の結果分析と改善の方向性がまとまりましたのでお知らせいたします。今回の調査結果につきましては、学力の一部分であり、また、学校の教育活動の一側面に過ぎないことに留意しながらも、調査結果の分析から課題を明確にして、教科指導や特別活動などの指導に生かしてまいります。今後とも御理解と御協力をお願い申し上げます。

◎下記の文章中に出てくる「上回っている」、「上回る」、「下回っている」、「下回る」という記述は、下記の基準にもとづいて表されています。
※「上回っている」は全国平均と比べて＋3.1 ポイント以上
※「ほぼ同程度であるが、やや上回る」は 3.0 ポイントの範囲内で全国平均を上回る
※「ほぼ同程度」は全国平均と同じ。
※「ほぼ同程度であるが、やや下回る」は 3.0 ポイントの範囲内で全国平均を下回る
※「下回っている」は全国平均と比べて－3.1 ポイント以下

１.【本校の状況分析】

《　国　語　》

学習指導要領の領域
「知識及び技能」　「思考力、判断力、表現力等」

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【主として知識及び技能に関する問題】 □「言葉の特徴や使い方に関する事項」では全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 □「情報の扱い方に関する事項」では全国平均を上回っている。 【主として思考力、判断力、表現力等に関する問題】 □「話すこと・聞くこと」では全国平均を上回っている。 □「書くこと」では全国平均を上回っている。 □「読むこと」では全国平均を上回っている。	★「言葉の特徴や使い方に関する事項」 文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うこと。 ★「読むこと」 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること。	◎補助教材として購入している「例文漢字」に継続して取り組み、テストを通して確認する。 ◎文章を読んで自分で考えたことを表現し、相互に交流し確認する。

《 数 学 》

学習指導要領の領域
「数と式」 「図形」 「関数」 「データの活用」

本校の概要

□「数と式」の領域では、正答率は全国平均を上回っている。

□「図形」の領域では、正答率は全国平均を上回っている。

□「関数」の領域では、正答率は全国平均を下回っている。

□「データの活用」の領域では、正答率は全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

今回の調査における課題

★「関数」
数学的に表現したことを事象に則して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。

★「データの活用」
データの傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること。

改善の方向

◎関数に関しては、表・式・グラフの特徴を捉え、相互に関連付けて問題を解決する演習を行うことで、基礎的な概念の理解を深めていく。

◎目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取るだけではなく、数学的な表現を用いて説明する場面を増やしていく。

《 英 語 》

学習指導要領の領域
「聞くこと」 「読むこと」 「書くこと」 「話すこと」

今回の調査における課題

★「聞くこと」
日常的な話題についての情報を聞き取り、概要を捉えたり、内容を整理したりすること。

★「読むこと」
日常的な話題について目的や条件に応じて、必要な情報を読み取ること。

★「書くこと」
与えられた情報を読み、語彙・表現・文法の知識を用いて実際のコミュニケーションに活用できるように書くこと。

★「話すこと」
社会的な話題について、自分の考えや気持ち、その理由を整理して伝えることや、相手の質問に応じて適切に受け答えすること。

改善の方向

◎「聞くこと」
教科書の音声を聞き、聞き取れた単語や内容を確認する。聞いた内容について、ペアで答えを確かめたり、話の要点を整理したりする学習に取り組む。

◎「読むこと」
教科書やワークの英文から、日時や場所、必要な情報を読み取る演習を日常的に行う。

◎「書くこと」
学習した単語や文法、表現を使って、身近な出来事や自分の考えを英作文にする学習やテストを行い、書いて表現する力を高める。

◎「話すこと」
ペアで質問したり、答えたりする活動を多く取り入れることにより、自分の考えを理由とともに英語で伝える対話演習を行う。

※英語については公開問題の領域に偏りがあることから、「概要」を分析していません。

2. 今後に向けて

国語：今後も基礎・基本の定着を重視し、漢字・語句・文法など読解の基礎となる学習を繰り返し行います。さらにそれらを土台としながら、論説、小説等様々な文章を読み解く学習に力を入れていきます。また、文章を読み解いたあと「自分で考えたこと」を書き、小グループ等で交流しながら表現の仕方を確認し、理解を深めていくよう授業の展開を工夫していきます。

数学：これまでの既習事項を振り返る場面を設定することで、新たな学びとの関連を意識し、知識及び技能の定着を図ります。また、数学的事象を考察する場面においては、自分の考えを他者と共有する活動を通して、数学的な表現を用いて説明する力を高めていきます。

英語：今後も基礎・基本の定着を重視し、単語や文法、基本的な表現を繰り返し学習していきます。また、教科書の音声を聞いたり、英文から必要な情報を読み取ったりする学習に繰り返し取り組み、英語の内容を理解する力を高めていくとともに自分の考えやその理由を英文で書いたり、ペアで伝え合う活動についても日常的に取り入れていきます。

3. 生徒質問から

本校の生徒質問の結果から、学校での悩みについて家族と話す機会は全国平均より多い一方、将来の夢や目標をもつ生徒の割合は全国平均を下回っていることが分かりました。ご家庭での会話の中で、お子様の悩みや思いを受け止めるとともに、「将来どんなことをしてみたいか」「どんな自分になりたいか」など、未来について話す機会を大切にしていただければと思います。

学校でもこの課題を真摯に受け止めて、次年度以降の学校課題として捉え、将来を考える機会を教育活動に取り入れていきたいと思います。

＊札幌市の実施報告書は札幌市のホームページに載っています。